

ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団 セールスマニュアル



サンスーシ宮殿

© SPSC, Schloss Sanssouci-Hans; Ch Krass.

サンスーシ (Sans Souci)

プロイセン王が愛したベルリンとポツダムのプロイセン宮殿と庭園群

ベルリン、ブランデンブルク、ポツダムに点在する30余りの宮殿と庭園は、プロイセン王と王妃の輝かしい時代へのタイムトラベルができる場所。完成度の高いプロイセンの建築と庭園芸術の証として、その多くが1990年にユネスコ世界文化遺産に登録された。宮殿・庭園群は、ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団が管理している。

ベルリンは、広大な公園や森、湖があるドイツでもっとも緑の多い都市。夏は屋外が好まれ、日中は陽の光を、夜は心地よい風を感じる水辺のバーやカフェ、野外シネマや演劇に人々が集まる。ベルリンは自由の町としても世界に知られる都市だ。

活気あふれるベルリンからほんの目と鼻の先にあるポツダムは都会の喧騒を忘れさせる町。華麗なバロック様式のファッサードと美しい裏庭、世界のアートや地元のストリートカルチャーが混ざり合う。広大な公園には別世界の景観が隠れ、緑の中に印象的な宮殿がそびえ立つ。絵のように美しいハーフェル湖は水上競技エリアと続いており、ヨットやカヌー、モーターボートでにぎわっている。そして現れるのがユネスコ世界文化遺産の驚くべき光景だ。100年余り前から国内外の映画産業にインスピレーションを与えてきた素晴らしい景観が広がる。

サンスーシ宮殿：フリードリッヒ大王 — サンスーシの哲学者

「あらゆる憂いは遠い彼方にある。甘美なワインが豊かに育まれるオリンポス山にそびえるサンスーシ宮殿は、この世のあらゆる重苦しさから解放される」。フリードリッヒ大王は、ポツダムの離宮サンスーシをこのように思い描いた。王のプライバシーが約束されるあらゆるものをそろえたが、自分用に想定した部屋は少なく、その代わりに内装とデザインは洗練されている。フリードリッヒ大王は、大理石の間で友人と食卓を囲み歓談することを好み、12部屋あるうち5つの客間は常に使用されていた。賓客たちは、豪華な部屋から一步テラスに出ると、目に入ってくるバロック様式庭園を眺めた。有名なテラス状のブドウ畑の上に立つ夏の離宮は、才知に富み音楽を愛する大王のお気に入りの宮殿であった。サ

ンスーシ宮殿と庭園の調和は、今もなお訪れる人を魅了し、プロイセンの歴史を体験できる特別な場所である。

チケット&料金：

サンスーシ宮殿：14€、割引10€

サンスーシ・プラス（サンスーシ宮殿を含むポツダム宮殿群すべてに有効な1日券）：22€、割引17€

開館：4～10月／9:00-17:30、11～3月／9:00-16:30
月曜休

グループ向け：

サンスーシ宮殿オーディオガイド付き（日本語あり）：
240€/各グループ（最大25名、所要時間60分、通年催行）

シャルロッテンブルク宮殿（ベルリン） — ホーエンツォレルン王家お気に入りの宮殿

本棟である旧宮殿と新翼からなるシャルロッテンブルク宮殿は、ドイツの首都ベルリンの最も重要な見どころの一つ。ブランデンブルク選帝侯、プロイセン王、ドイツ皇帝代々の宮殿として、ベルリンで最大かつ最も重要なものである。七代にわたるホーエンツォレルン家君主が好んだ宮殿の一つで、部屋や庭園は度々改装され、華麗な装飾が施されている。バロックから20世紀初頭までこの宮殿で過ごした人々が、儀礼あるいは個人の趣向で手を加えた変化の軌跡がよくわかる。第二次世界大戦で甚大な被害を受け、大規模な修復の後、陶磁器の間、宮殿チャペル、フリードリッヒ一世の寝室などバロック様式のかつての夏の離宮をほぼ当時のまま見学することができる。近年公開となった旧宮殿上階にある「銀の間」には、ドイツ君主国時代の貴重な宝物が収められている。初代プロイセン王夫妻の即位の際に制作された王冠、王笏（おうしゃく）、十字架付き宝珠、選帝侯剣、印章のほか、貴重な宝物を鑑賞することができる。



© SPSPG, Schloss Charlottenburg; J-Rosenow.



© SPSPG, Schloss-Charlottenburg; Reinhardt und Sommer.



© PMSG, SPSPG Park Sanssouci; Andre Stiebitz.jpg.

チケット&料金：

シャルロッテンブルク宮殿：本棟/新翼 各12€、割引8€

シャルロッテンブルク・プラス（シャルロッテンブルク施設すべてに有効な一日券）：19€、割引14€

開館：4～10月／10:00-17:30、11～3月／10:00-16:30
月曜休

グループ向け：

シャルロッテンブルク宮殿本棟マルチメディアガイド（日本語あり）：180€/各グループ（最大25名、所要時間40分、通年催行）

ツェツィーリエンホーフ宮殿（ポツダム） — 歴史の舞台

1913～17年にかけて英国様式に建てられたツェツィーリエンホーフ宮殿は、ホーエンツォレルン家最後の宮殿である。1945年まではプロイセン最後のドイツ皇太子夫妻ヴィルヘルムとツェツィーリエ（1886～1954）が住んでいた。1945年7月17日から8月2日までの間、ベルリンの門前にあるツェツィーリエンホーフ宮殿は、第二次世界大戦の戦勝国である米国、英国、ソ連の三国首脳がドイツの行く末や欧州および世界の政治・領土の新秩序について話し合うポツダム会談という世界史の舞台となった。欧州では第二次世界大戦が終焉を迎え、ハリー・S・トルーマン、ウィンストン・チャーチル、ヨシフ・スターリンの三国首脳が交渉する間、アジアや太平洋ではさらなる戦いが続いており、1945年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が投下された。常設展では、会談の間や三国首脳が執務室など宮殿内の歴史的な部屋を見学することができる。1945年へのタイムトラベル体験が可能だ。



© SPSPG, Schloss Cecilienhof; H_Bach.



© SPSPG, Schloss Cecilienhof Konferenzsaal; L_Seidel.

チケット&料金：

ポツダム会談見学コース：12€、割引8€

開館：4～10月／10:00-17:30、11～3月／10:00-16:30
月曜休

グループ向け：

ツェツィーリエンホーフ宮殿マルチメディアガイド（日本語あり）：160€/各グループ（最大20名、所要時間60分、通年催行）

*割引対象、及び各チケット種類詳細は[こちら](#)



STIFTUNG
PREUSSISCHE SCHLÖSSER UND GÄRTEN
BERLIN-BRANDENBURG

問い合わせ先：ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団

詳細：<https://www.spsg.de> | <https://www.spsg.de/en/travel-trade> | [Tickets online](#)

グループ問い合わせ：E-mail: gruppenservice@spsg.de

観光マーケティング担当：Jeannette Birk E-mail: j.birk@spsg.de

Instagram: [@spsgmuseum](#) and [@sanssouci.palace](#)

Facebook: [@spsgmuseum](#) and [@SchlossSanssouci](#)

掲載情報は、2023年3月現在のものです。

www.germany.travel

ツークシュピッツェ セールスマニュアル



© Bayerische Zugspitzbahn-Matthias Fend

ドイツの最高峰ツークシュピッツェ山へ

雄大な山々を眺めながらアクティビティやグルメを楽しめるツークシュピッツェ山

これは誇張ではない。標高2962mのツークシュピッツェ山はまさに最上級の山。ドイツで最も高い標高にあるこの山には3つの氷河があり、4カ国の山々を360度見渡せるパノラマと幅広いアクティビティが揃っている。



Zugspitze-Gastro-1 ©Bayerische Zugspitzbahn-Matthias Fend

最新式ロープウェイは、パノラマ景観の中を高速かつ快適に雲を抜けて走る。ツークシュピッツェ・ロープウェイは乗客をわずか9分でドイツ最高峰へと運ぶ、新しい時代の幕開けともいえる乗り物だ。2017年12月以降、全面ガラス張りの2台の大型キャビンが、1時間に最大580人の乗客を山頂まで運ぶ。長い列に並ぶのは過去の話となった。そして、ツークシュピッツェ・ロープウェイでは3つの世界記録を体験することができる。途中通過する鉄塔の高さ127m、移動標高差1945m、支柱間のスパン3213m。これらはいずれも世界記録の数値である。

山頂に到着すると360度のパノラマが広がっている。ツークシュピッツェ山頂での究極の開放感は、筆舌に尽くしがたい。天候に恵まれれば、ドイツ、オーストリア、イタリア、スイスの400峰の山海が見渡せる。

新しい山頂レストラン「パノラマ2962」は、ツークシュピッツェの新たなスポット。海拔3,000mに位置する多機能レストランで、建築設計上も卓越したものとなっている。ツークシュピッツェ山から見晴らせる4カ国のパノラマビューにちなんで、料理のテーマは「the best from 4 countries」。アルプス地方の代表的な料理をパノラマビューとともに味わえる。



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

ツークシュピッツェ山頂で絶景を堪能した後、雪に触れてみたいと思ったら、氷河ロープウェイに乗るとツークシュピッツェ氷河に出る。ツークシュピッツェ氷河では1年中そりを楽しめ、氷河レストラン「Sonnapin」周辺は雪の散歩に最適。サンテラスで日光浴やアルプスの眺めを満喫することができる。

冬のツークシュピッツェ氷河スキー場は、まさに至高の空間となる。海拔2,000～2,720mという標高のため、1年のうち6カ月間は天然雪に深く覆われ、渓谷が濃い霧に包まれても太陽のもとで滑ることができる。家族連れや初心者はもちろん、経験豊かなスキーヤーやスノーボーダーが利用できる20kmに及ぶ初～中級コースが整備されている。

夏のシーズンは、ハイキングや登山などアクティブな旅が楽しめる。さらに、ツークシュピッツェ氷河や気候変動が氷河に与える影響などを学べる氷河冒険コースやガイド付き氷河ツアーを体験することも可能だ。

下山時は、歴史あるラック式鉄道利用がオススメ。90年以上も昔からツークシュピッツェ氷河と麓を行き来する人々



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

を安全に運んでいる。ツークシュピッツェ山頂で冒険した後、車窓から移り行く山々の景色を眺めながら山を下りることで充実した旅の一日となる。

バイエルン・ツークシュピッツェ鉄道社のロープウェイや登山鉄道は、ウィンタースポーツ愛好家、自然愛好家、ロマンチスト、日光浴が好きな人などあらゆる人にツークシュピッツェ山の素晴らしさと発見の機会を与えている。



山好きが集まるエリア — ガルミッシュ・クラシック

ツークシュピッツェ山に隣接するガルミッシュ・クラシックとヴァンク山。このエリアは山岳愛好家を魅了する地域だ。ハイキングや登山、スキー場などの設備が整うガルミッシュ・クラシックには、家族連れやシニア、プロ・アマ問わずアスリート



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

にぴったりのエクスカッションやアクティビティが数多くある。バイエルン・ツークシュピッツェ鉄道社のロープウェイで、夏冬どちらのシーズンもアルプシュピッツェ山とクロイツェック山にアクセスすることができる。スキーシーズン中は、ハウスベルクバーン・ゴンドラリフトでハウスベルク山頂に行くのが便利だ。ガルミッシュ・クラシック一番のハイライトであるアルプスピックス展望台からは、息をのむような絶景が望める。山岳風景に囲まれたこのエリアは、ハイキングやサイクリング、夏のパラグライダー、冬のスノーボードなど山を愛するすべての人に理想的なデステーションである。

バーデン・バーデン セールスマニュアル



© BBT, N.Dautel

バーデン・バーデン2023

多彩な顔を持つバーデン・バーデンではさまざまな体験ができる。文化の町として国際的にも知られるバーデン・バーデンは牧歌的な黒い森の入口にあり、地中海的な風情と都会の文化が混ざり合う、世界中の旅行者を魅了する町だ。芸術やクラシック音楽愛好家だけではなく、美食家、自然・健康志向の人など多くの人に幸せをもたらしている。

日本からバーデン・バーデンへのアクセスは快適。フランクフルトやチューリッヒ、ストラスブール空港からシャトルバスと快速列車で60～90分で到着する。



芸術に溢れる町

観て、聴いて、踊り、感動する。バーデン・バーデンが最も小さな世界都市と呼ばれるのには理由がある。最高峰の文化・芸術に街のいたるところで触れることができるのだ。ドイツ国内でも名高い州立美術館と市立博物館、フリーダー・ブルダ美術館が集まる一角 [ミュージアムマイル](#)、トップスターによる公演が催される [祝祭劇場](#)。オペラ、ジャズ、シンフォニーコンサート、[南西ドイツ放送New POP Festival](#)などのイベントは大人も子供も楽しむことができ音楽ファンを沸かせている。他にも国際ダンス選手権、舞踏会の数々、[クアハウス](#)、ベナゼホール、劇場などジャンルを問わず最高の体験ができるのがバーデン・バーデンの町だ。



© Andrea Krempner



© Thomas Straub



© Black Forest Production



© Baden-Baden Kur & Tourismus GmbH, C. Cancellieri

イベント&体験ハイライト

- 祝祭劇場、[劇場](#)、[カジノ](#)ガイドツアー
- [トッカリオン](#)：5～12歳までの子供が体験しながら音楽に親しめるファミリー向けミュージックワールド
- バーデン・バーデン イースター音楽祭 (2023/4/1～10)：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート
- [アートシティ](#) (2023/7/15～9/3)：国際芸術家の手によりクア公園が体験型アートパークとなるイベント
- [フィルハーモニーのタベ](#) (2023/7/29)：ダリア公園内リヒテンター・アレーで開かれる野外コンサート



フリーダー・ブルダ美術館 企画展

2023/4/30まで

TRANSFORMERS
フリーダー・ブルダ作蔵作品と
人工知能生命の対話

2023/5/20～10/8

The king is dead, long live the queen
31人の女性現代美術家による展覧会



豆知識

バーデン・バーデン祝祭劇場は2023年、創立25周年を迎える。
2500席のホールは、ドイツ最大のオペラとコンサートホールで、欧州では2番目の大きさを誇る。

散策したくなる緑の町

黒い森の野性美とヤシやレモンの木に見られる南国的な雰囲気、そして、ブドウ畑の景観。バーデン・バーデンには人が自然に癒される環境がそろっている。雄大な見晴らしを望める[ハイキングコース](#)は数多く、マウンテンバイクや電動バイクでの[サイクリングツアー](#)、極上の[ゴルフ場](#)、有名なバラ庭園、パラグライダーやクライミングにぴったりの地元の[メルクーア山](#)など自然を楽しめるプランがたくさんある。これらが可能となっているのは、バーデン・バーデンの町の中心部に豊かな自然があるからだ。並木道[リヒテンターラー・アレー](#)がグリーンベルトのように市内を横切り、ちょっと一息したり、散策をしたい気分させる。

豆知識 バーデン・バーデン総面積の61%は森である。

健康促進を目指した町

2000年以上も昔、バーデン・バーデンの町は人々の健康のために築かれた。長年の年月を経た今、特別な処方箋で癒しと活力をもたらす魅力ある場所となっている。[カラカラ浴場](#)ウェルネスラウンジでのマッサージ、伝統のある[フリードリヒス浴場](#)、市内スパホテルでゆったりと過ごす一日。バーデン・バーデンは、誰もがオフの時間を満喫できる町だ。



© CARASANA Bäderbetrieb GmbH

© Baden-Baden Kur & Tourismus GmbH, N.Dautel

© Baden-Baden Kur & Tourismus, N.Dautel

イベント&体験ハイライト

- [マッサージと温泉三昧のカラカラ浴場](#)
- スパ&ウェルネスホテル内ビューティサロン [Day-Spa](#)
- [クナイプ療法](#) フットケア
- ブレナーズパークホテル&スパ内 [ヴィラ・シュテファニー スパ & ウェルビーイング](#) のデジタルデトックス
- 厳選ホテルの緑の中で行う [ヨガリラクゼーション](#)
- 市内12ステーションある森林フィットネスルート

ユネスコ世界遺産

[ヨーロッパの大温泉保養都市群](#)のひとつとして、バーデン・バーデンは2021年にユネスコ世界文化遺産に登録された。中世以降、20世紀初頭までに築かれた歴史的市街地に世界文化遺産がある。

- [バーデン・バーデン市立博物館](#) 常設展「バーデン・バーデンの二千年の歴史」
- [歩いて巡る世界遺産ツアー](#) では、複数の世界遺産散策ルートを自分のペースで巡る。[\(ガイドツアーあり\)](#)
- [古代ローマ兵士の浴場遺跡](#) 見学



豆知識 バーデン・バーデンには12の泉源があり、68度の治癒力のある鉱泉が一日80万リットル湧出している。

星付きレストランからバーデン風レストランまで

バーデン・バーデンは食欲をそそる町。ピクニックにワインテイスティング、ロマンチックなキャンドルディナーなどどんな食事シーンにも地域色や季節を感じる旬の素材、職人技が光り、それが[バーデン・バーデンの多彩な食の世界](#)を彩っている。バーデン・バーデンのテラスとも呼ばれる**ぶどう栽培地レーブランド**は、ドイツで最も有名なリースリング種白ワイン名産地のひとつでグルメやワイン好きは外せない場所だ。

イベント&体験ハイライト

- ブドウ畑 [セグウェイ・ツアー](#) (ワイン試飲会付き)
- 展望ハイキング ([ランチバスケット付き](#))、ノイヴァイアーのぶどう畑ハイキング (5/21)

- [バーデン・バーデン ワインハウス マウアーベルク社](#) で解説付きワイン試飲会、毎金曜日14時30分 (祝日を除く)
- [バーデン・バーデン サマーナイト](#) (2023/6/29~7/2) : クア公園で開催される夏のイベント。ライブコンサートや飲食店あり。
- [クアパーク・ミーティング](#) (2023/8/25~9/3) : 音楽とグルメを楽しめるイベント週間
- [バーデン・バーデン クリスマスマーケット](#) (2023/11/23~2024/1/6) : クアハウス前



豆知識 バーデン・バーデンには星付きレストランが2軒ある。シュタールバートの「Le Jardin de France」、マルテスの「隠れ家キッチン」はいずれもミシュラン一つ星。

コンタクト



Cornelia Stahr

Head of Global Marketing

GCC, USA,
Russia, India

Tel.: +49 7221-275268

E-Mail: stahr@baden-baden.com

Sanja Häcker

Global Marketing Manager

Germany, Switzerland, Austria,
BeNeLux, Spain

Tel.: +49 7221-275207

E-Mail: haecker@baden-baden.com

Katja Flann

Global Marketing Manager

France, UK, Italy, Israel, China,
Japan, Singapore

Tel.: +49 7221-275269

E-Mail: flann@baden-baden.com

BADEN-BADEN

The good-good life.

バーデン・バーデン

Baden-Baden Tourism Board

Solmsstraße 1

76530 Baden-Baden Germany

Phone: +49 (0) 7221 275 269

Web: www.baden-baden.com

掲載情報は、2023年3月現在のものである。